

音 楽 部

研究テーマ 楽しい音楽授業の実践を目指した指導の工夫

1 はじめに

楽しい音楽授業を実践するためには、教師の指導力向上が大切である。実践に生かせる「合奏」「合唱」の指導法を学ぶため、その道のプロである講師の方をお迎えし、研修を行った。

2 研究概要

4月21日(木) 組織の構成・役割分担、事業計画の作成

10月12日(水) 「授業に生かせる合奏指導」

講師 音楽ライフ 十二 正機先生 (会場 安野小学校)

11月29日(火) 「授業に生かせる合唱指導」

講師 ジュニア合唱団指導者 野村 幸子先生 (会場 水原小学校)

3 研究の実際

(1) 「授業に生かせる合奏指導」

安野小学校4年生(担任:波多野帝子先生)への合奏指導を観せていただいた後、部員には鍵盤ハーモニカの実技指導をしていただいた。

- ① 楽器の持ち方
- ② 短い8分音符や16分音符の演奏の仕方
- ③ 曲の雰囲気に合わせたタンギングの仕方
- ④ 演奏のテンポを一定に保つ方法

これらの内容を、子どもに寄り添って個別指導されている様子を観せていただいた。また、実技指導では、ベートーベンの「運命」によって部員が鍵盤ハーモニカの正しいタンギング方法を学ぶことができた。



(2) 「授業に生かせる合唱指導」

歌唱する前の基礎的な内容から、専門的な内容まで幅広く教えていただいた。

- ① 先生による独唱
- ② 準備運動
- ③ 発声練習
- ④ 歌唱指導

歌唱に消極的な子ども、怒鳴って歌う子ども、音程が合わない子どもなど、実際の子どもたちへの具体的な働き方も学ぶことができた。



4 おわりに

合奏では楽器の持ち方やタンギング、合唱では準備運動や発声方法、姿勢、というように、子どもたちが音楽の楽しさを感じるには、基礎的な指導を行うことが大切であるということがわかった。その指導法を実際に学ぶことができたので、日々の授業に生かせる研修であった。